

慢

おん マン

14画
「心」 慢 慢 慢 慢

なりたち 曼(はん)は冒と又との会意字で、防寒帽で目が隠れている人の「手を引く」意味の字。伸びる、広がる意味に用いる。曼と心との会意形声字で、「心が広がる」意味。「おごりたかぶる・あなどる・おこたる」意味に用いる。



いみじゆくじ

▼おごりたかぶる。あなどる。慢心：心がおごり高ぶること。おごり高ぶった心。

高慢：心がおごり高ぶって人をばかにするような態度をとること。

自慢：自分や自分に関係のあることについて、人に誇る。こと。

我慢：①仏教用語で、おごり高ぶって人をばかにすること。②耐え難いことを耐えること。

▼おこたる。怠慢：なすべきことをおこたえること。例職務怠慢

▼長びく。緩慢：のろのろしていること。用例緩慢な動作

慢性：病気やよくない状態が長びいて、なかなか治らない性質。例急性

いみじゆくじ

▼家来。臣下：君主に仕える家来。家臣：家に仕える家来。臣従：家来として従うこと。

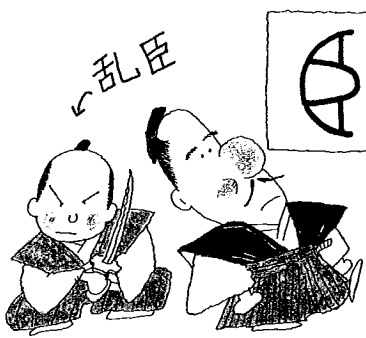
家来になること。重臣：重要な地位にある家来。用例代々重臣の家柄

忠臣：忠実な家来。功臣：手柄(功)のあつた家来。旧臣：①ふるくからの家来。②前に仕えていた家来。

老臣：①年を取った家来。②地位の高い家来。乱臣：君主にそむく家来。

よみかた 臣民・近臣・君臣

ニ知識 内閣総理大臣以内閣の代表者として行政各部を指揮監督する国務大臣。国会の議決により国会議員の中から指名され、天皇によって任命される。首相。総理。



臨

リン のぞむ

18画
「尸」 臨 臨 臨 臨

なりたち 人の形を表したと臣と品との会意形声字。人が目を見張って品物の番をすることを表した字。高い所から見おろすので「ぞむ」意味に用いられる。

いみじゆくじ

▼水がなみなみとしている。漫漫：水がなみなみと広がっている様子。用例漫々たる

大平洋に船を浮かべる。▼とりとめがない。散漫：とりとめがなく、しまらないこと。例注意散漫

冗漫：くどくどと長くて、とりとめがないこと。用例冗漫な話し方

放漫：しまりがなく、投げやりなこと。例放漫経営

▼そぞろに。気の向くまま。漫然：特別な目的や意識がなく、ぼんやりとした様子。

用例漫然と日を送る。漫歩：特別な目的なしに、ぶらぶらと歩くこと。そぞろあるき。

漫遊：気の向くままに旅(遊)をする。よみかた 漫画・漫才・漫談

いみじゆくじ

▼見おろす。のぞむ。臨海：海にのぞんでいること。例臨海学校・臨海工業地帯

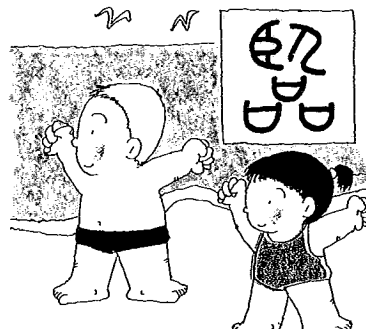
▼身分の高い人がのぞむ。臨席：身分の高い人が席にのぞむこと。用例二臨席を賜りますようお願い致します

(招待状の文面など) 光臨：人が何かの席に臨むのをうやまつていう言葉。「臨席」よりさらに丁寧な言い方。

君臨：君主として臣下に臨むこと。また、たとえて、ある方面で絶対的な権力を持つこと。用例球界に君臨する

▼その場にのぞむこと。臨場：その場にいること。用例臨場感あふれる中継放送

よみかた 臨機応変・臨時・臨終・臨床・降臨・来臨

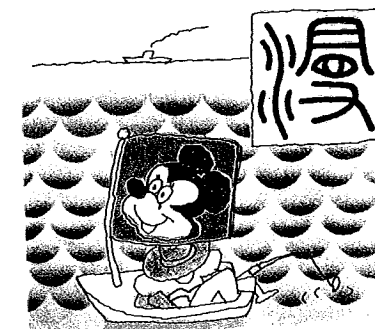


漫

まん マン

14画
「氵」 漫 漫 漫 漫

なりたち 伸びる、広がる意味の曼(まん)と氵との会意形声字。大河が水をいっぱいたえて長々と流れ行くさまを表した字。転じて、「とりとめがない・そぞろ・気の向くまま」という意味に用いられる。



漫漫

臣臨